

省工程重防食塗料

Brushable シリーズ

ブラッシュャブル - S & M



超厚膜無溶剤系セラミックエポキシ樹脂塗料

Brushable-S



NETIS 登録番号：QS-200011-A

鋼橋塗装設計施工要領【2021年10月 首都高速道路(株) 補修塗装（重防食） SDK-P511

厚膜無溶剤系セラミックエポキシ樹脂塗料

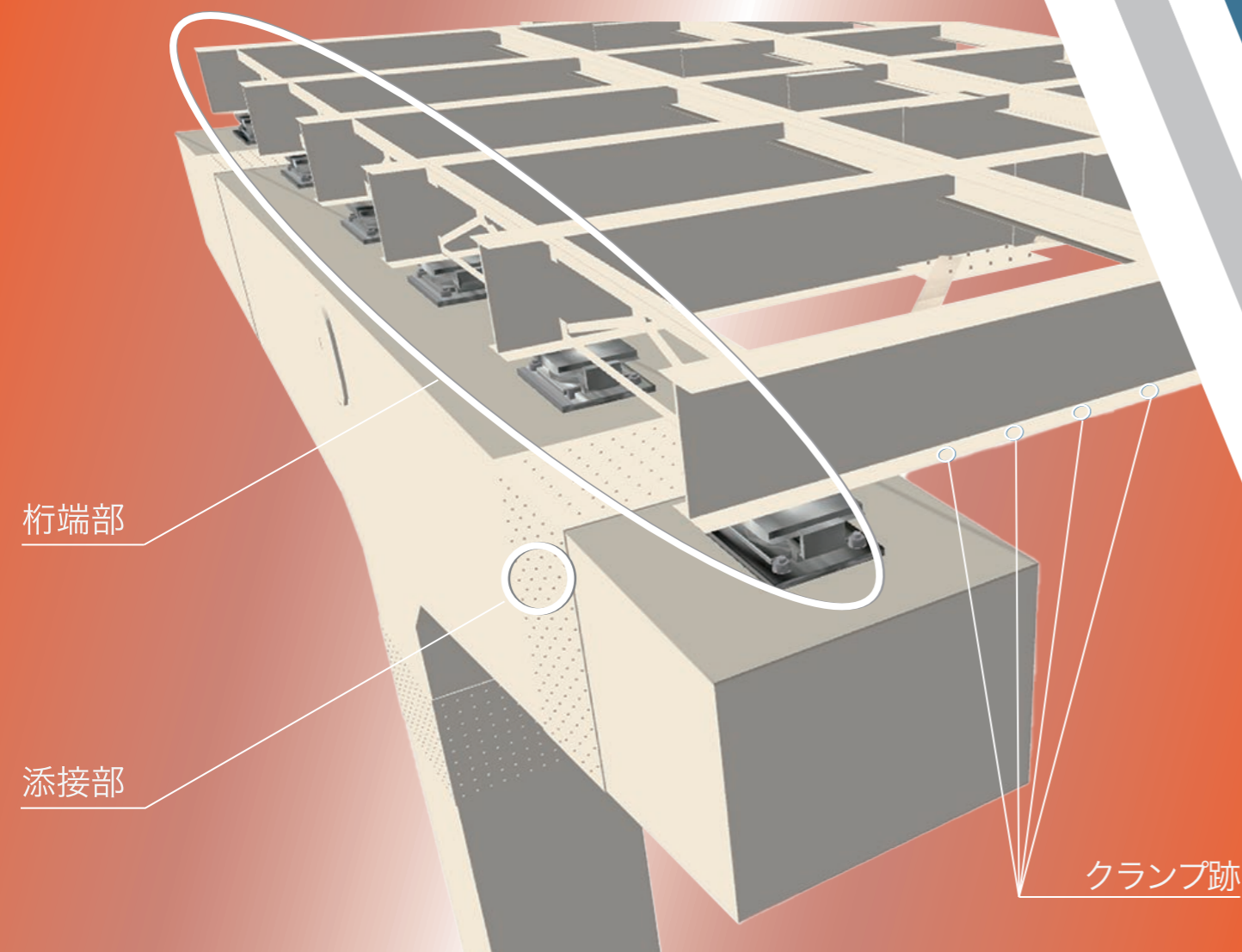
Brushable-M



for Small Area

(Less than 10m²)

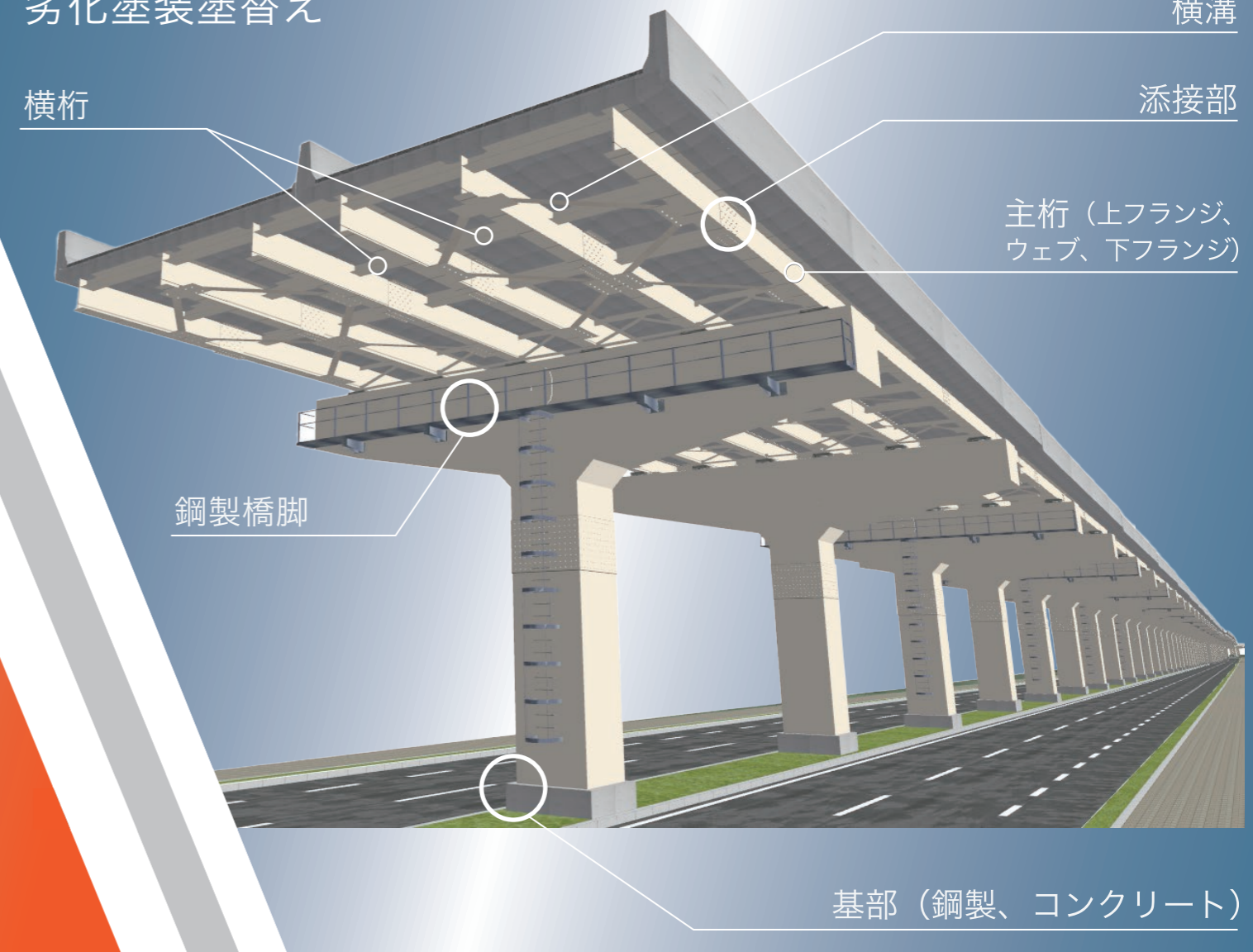
損傷対応



for Large Area

(More than 10m²)

劣化塗装塗替え



Brushable シリーズ は、今までに無いコンセプトで SDGs に配慮したメンテナンスを提供します。

■ 現行塗装仕様との比較

Brushable を使用すると...

- 足場損料の **削減**
- 交通規制期間の **短縮**
- 作業人数(人件費)の **削減**

TOTAL PROCESS

塗装工程 5日 → 1日 or 2日 **約70% 削減**

【現行塗装仕様】

素地調整	工程	塗料名	使用量 (g/m ² 以上)	塗装方法	目標厚膜 μm	塗装間隔
1種 1種相当 2種	防食下地	水性有機 ジंकリッチペイント	600 (250x2)	吹付 (ローラー)	75	1日 - 10日
	下塗1	水性エポキシ 樹脂塗料	240 (200)		60	
	下塗2	水性エポキシ 樹脂塗料	240 (200)		60	
	中塗	水性エポキシ 樹脂塗料中塗	170 (140)		30	
	上塗	水性ポリウレタン 樹脂塗料 水性ふっ素樹脂塗料	140 (120)		25	

【Brushable-S 屋内仕様】

素地調整	塗料名	使用量 g/m ²	塗装方法	目標厚膜 μm	塗装間隔
1種 2種	Brushable-S	1,000	刷毛	750	--

【Brushable-S 屋外仕様】

素地調整	塗料名	使用量 g/m ²	塗装方法	目標厚膜 μm	塗装間隔
1種 2種	Brushable-S	1,000	刷毛	750	60分 - 10日
	水性ポリウレタン樹脂塗料 水性ふっ素樹脂塗料	140 (120)	吹付 ローラー	--	

【Brushable-M 仕様】

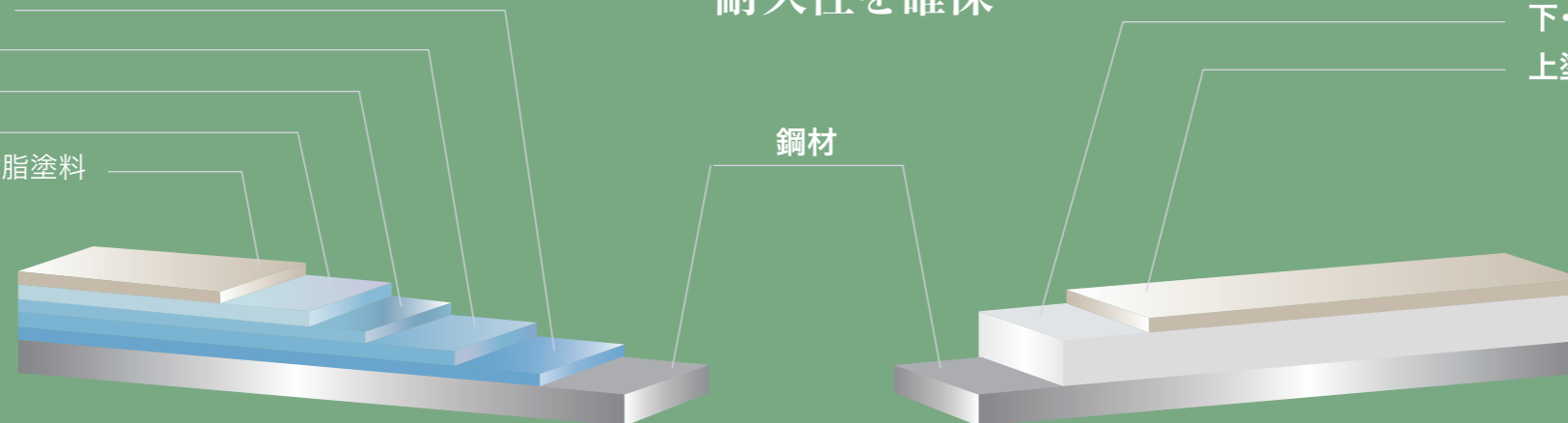
素地調整	塗料名	使用量 g/m ²	塗装方法	目標厚膜 μm	塗装間隔
※ 1種	Brushable-M	500	刷毛 ローラー	300	60分 - 10日
	水性ポリウレタン樹脂塗料 水性ふっ素樹脂塗料	140 (120)	吹付 ローラー	25	

※ 健全な防食下地に使用してもよい。

■ 塗装工程の比較

- 防食下地 水性有機ジंकリッチペイント
- 下塗1 水性エポキシ樹脂塗料
- 下塗2 水性エポキシ樹脂塗料
- 中塗 水性エポキシ樹脂塗料中塗
- 上塗 水性ポリウレタン or 水性ふっ素樹脂塗料

同等以上の
耐久性を確保



現行塗装仕様

Brushable 仕様

下・中塗 **Brushable**

上塗 水性ポリウレタン or 水性ふっ素樹脂塗料

Brushable-S

Brushable-M

10㎡未満の損傷対応

1工程で750μm以上の厚膜塗装が可能(常温下)

12倍の複合サイクル試験でも品質問題無し

傷が付きにくい強固な塗膜

2種ケレンでも強固な付着力を発揮

各種上塗り塗料と好相性

10㎡以上の劣化塗装塗替え

1工程で300μm以上の厚膜塗装が可能(常温下)

12倍の複合サイクル試験でも品質問題無し

韌性を有する強固な塗膜

各種上塗りと好相性

刷毛、ローラーで塗布可能

SAFETY 高い安全性

■ 一般塗料との安全比較

	有機ジンクリッチペイント	
	主剤	硬化剤
引火点	23℃	-7℃
臭気	強い	強い
消防法	危4類1石	危4類1石
※ 取り扱い量	40L未満	40L未満

※東京都火災予防条例に準ずる取り扱い量(届出不要)

	Brushable シリーズ	
	主剤	硬化剤
引火点	204.4℃	> 93.3℃
臭気	僅か	僅か
消防法	危4類4石	危4類3石 非水溶性液体
※ 取り扱い量	1,200L未満	400L未満

※東京都火災予防条例に準ずる取り扱い量(届出不要)

溶剤を一切含まない**無溶剤**タイプ

鉛やクロム等の**有害重金属**を含まない

溶剤系塗料に比べ取扱量が**大幅増量**

Brushable-S

Brushable-M

■ 塗装基準

項目	内容			
素地調整	1種、2種ケレン			
可使時間 (分)	5℃	15℃	25℃	35℃
	>120分	75分	50分	30分
※ 上塗り可能時間 (塗装間隔)	5℃	15℃	25℃	35℃
	60分			
	60分 - 10日			
塗装間隔を超える場合は研磨紙等による目荒らし及び脱脂工程要。				
塗膜 硬化時間 (時間)	5℃	15℃	25℃	35℃
	60時間	32時間	24時間	12時間
施工条件	気温：5℃未満、湿度：85%RH以上 この条件下では施工してはならない			
膜厚管理	Wet 膜厚 (μm)		Dry 膜厚 (μm)	
	800		750	

※ 上塗り可能時間は参考値

■ 施工管理

使用量	1,000 g/m ²
塗布厚み	750 μm
塗布可能面積	1.0 m ²

項目	内容				
素地調整	1種ケレン ※1				
可使時間	5℃	15℃	25℃	35℃	
	>360分	200分	105分	55分	
※2 上塗り可能時間 (塗装間隔)	5℃	15℃	25℃	35℃	
	48時間	12時間	8時間	6時間	
	48時間 - 10日	12時間 - 10日	8時間 - 10日	6時間 - 10日	
塗装間隔を超える場合は研磨紙等による目荒らし及び脱脂工程要。					
塗膜 硬化性	指触 乾燥	5℃	15℃	25℃	35℃
		48時間	12時間	8時間	6時間
	半硬化	5℃	15℃	25℃	35℃
	60時間	20時間	16時間	10時間	
硬化	5℃	15℃	25℃	35℃	
	72時間	30時間	24時間	16時間	
施工条件	気温：5℃未満、湿度：85%RH以上 この条件下では施工してはならない				
膜厚管理	Wet 膜厚 (μm)		Dry 膜厚 (μm)		
	350		300		

※1 健全な防食下地に使用してもよい

※2 上塗り可能時間は参考値

使用量	500 g/m ²
塗布厚み	300 μm
塗布可能面積	20 m ²

